

持続可能な地域社会の形成・維持に向けた多文化共生の実態と社会システムの在り方

■ 教養力育成センター 助教 坂本 文子

- 研究分野：社会学、多文化共生論、地域創生論
- キーワード：多文化共生、中間支援、防災、サービス・ラーニング

I 研究概要

日本では、急激な人口減少を背景とする地域コミュニティの衰退が一層懸念される一方で、地方を含む日本全国で外国人住民が増加している。

地域コミュニティの形成・維持を目的に、外国人住民が地域を担う構成員として、共に暮らせる地域社会の在り方や、そうした社会の構築をめぐる諸課題について調査・研究を行っている。具体的には、外国人住民の地域参画に必要な中間支援の要件や、外国人住民が要支援者としてだけでなく支援者として活躍するための防災の見直し、外国人児童生徒教育に関する教育環境問題などである。さらに、これらを明らかにする過程において、外国人住民と共にワークショップを実施したり、コミュニティFMの番組制作をするなど、実践との往還を重視して行っている。

また、地域コミュニティの形成・維持を目的とした施策や取組と多文化共生を目的とした施策や取組が融合を果たしていないとの問題意識から、それらをつなぎ合わせるための方策の一つとして、地域に根差した学びを重視する教育手法(サービス・ラーニング)に着目する。サービス・ラーニングを基礎とする教育プログラムの開発を行うと同時に、効果の測定などを行っている。



「留学生の防災まち歩き」



「防災ワークショップ」



「コミュニティFM 番組制作」

I 利点特徴

外国人という視点をもって地域の形成・維持に関する事柄を見直すことによって、多様化する日本人にも住みやすい社会の在り方を示すことができる。

I 応用分野

外国人受け入れに伴う諸課題への対応策や実態調査



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS